

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々使用した玩具やマットなどの遊具も消毒を実施。施設内の消毒にも努めている。共有という視点でも相互点検して対応してきた。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		会議の充実に努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		独自のアンケートを実施している。また、学習会後の感想を依頼し、読み取れる課題などを次の開催時に活かすようにしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○	HPは、十分に活用できていない。HPを検討し、変更の準備を進めている。通信を年2回発行し、地域だけでなく、市内の学校園に配布している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	保護者にはアンケートを実施している。運営協力委員会で運営方針や活動内容を知らせ、検討いただいている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		学習委員会で年間計画を立てて実施している。また外部の研修を案内し、参加できるような体制をとり個々のスキルアップを図っている。新任者向けのフレッシュャーズ講座を企画し実施した。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	児童発達支援管理責任者が、クラス会議に参加し、客観的かつ療育で大切にしていることをツールとして使用できるよう検討している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		家族支援を意識して記入できるように、支援計画の様式を見直して作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		クラス会議や、ねらい会議で月案週案を検討しチームで立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		一人ひとりの興味や姿に合わせ、発達要求を捉えながら集団で検討し、計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		他の会議等でできない日もあるが、クラス会議で振り返り気づいたことはそのつど確認して共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録用紙の様式を検討して統一し、点検機能も果たせるような内容に変更した。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半期に1回モニタリングしている。また、必要な時には個別懇談も実施している。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		保護者と相談しながら必要に応じて、同行受診を実施したり、保護者に同意を得て連携したりしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者に引継ぎ内容を開示して、引継ぎを行っている。また、卒園児の就園先の訪問を5園実施した。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の了解を得て、引継ぎを口頭と書面で行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		民間事業所との連携はあまりできていないが、当センターが主催する職員学習会は案内し、参加された事業所とは交流できるようにしている。公立3療育での合同研修を開催し、合同会議も実施している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		今年度は、コロナ感染防止対応として2学期以降に計画していたが、再度見直しとなり少ない回数ではあったが交流を実施した。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		親子保育を週1回実施している。子どもたちの姿を通して共有する機会も大切にしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		コロナ感染防止対策としてリモートやビデオ視聴学習などで、工夫しながら実施した。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		重要事項説明書に丁寧に記載している。療育開始後すぐに療育オリエンテーションを実施し、冊子を配布して説明を行っている。運営規定については掲示する。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者に開示し、思いや意見を取り入れ計画に反映して同意を得て進めている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		計画的に個別懇談を実施すると共に、必要に応じ発達相談員や管理栄養士、理学療法士、作業療法士、医師などの専門職との相談につなげている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		コロナ感染予防対策を行いながら、工夫して実施していた。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		電話での相談も含め個別懇談などの実施し、丁寧に対応すると共に情報共有している。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		園便り・カレンダーを毎月発行し、クラス便りについては随時発行。どの行事についてもお知らせやニュースとして発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度は、コロナ感染防止対応として行事が中止であったり、外部の方の招待は無しとしたりした。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		大津市の危機管理マニュアル等があり、常にその観点で対応している。健康安全委員会は月1回程度開催するとともに、学習会を実施して対応を確認している。やまびこ総合支援センターとして感染対策委員会を開催しており、情報共有と対応確認を行っている。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年度当初に避難訓練計画を作成し、月1回避難訓練を実施している。センター全体では、各階で訓練を実施している。保護者を巻き込んだ訓練実施となるため説明を丁寧に行っていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		救急カードを作成し、保護者に提出していただいている。その内容は職員間で共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		インシデントとヒヤリハットの用紙を作成し、まとめている。全職員で共有し再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		人権研修会を実施した。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			身体拘束は必要ないため記載していない。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。